

## 瑞穂町都市計画マスタープラン改定に向けたまちづくり懇談会の開催結果概要

## ■開催日時・参加者数等

- |             |                 |          |
|-------------|-----------------|----------|
| ・9月16日（水）   | 於：武蔵野コミュニティセンター | 参加者数：5人  |
| ・9月17日（木）   | 於：長岡コミュニティセンター  | 参加者数：8人  |
| ・9月18日（金）   | 於：元狭山コミュニティセンター | 参加者数：31人 |
| ・9月22日（火/祝） | 於：町民会館          | 参加者数：20人 |



武蔵野コミュニティセンター



長岡コミュニティセンター



元狭山コミュニティセンター



町民会館

## ■質疑応答での主な意見

## &lt;土地利用に関して&gt;

- ・市街化調整区域の農地をこのまま残すのか？ 農家は高齢化や後継者不足で農業をつづけられない中で、農業所得だけで生活できる世帯は限定的であり、不耕作地が増えるのではないのか？ 住民利便性を高める土地利用に転換することを考えるべき。
- ⇒営農希望者や新規参入者も若干数いるため、農業利用の有無のバランスを考えながら将来土地利用を考えるべき。
- ・元狭山は市街化調整区域の農用地で開発困難な地区であり、小学校付近に家を建てたくても建てられない状況にある。そのため、周辺の土地利用規制をみると高根周辺の工業地域しか住宅が建てられないため、住工混在の土地利用になっている。将来的にこのような状況を是正するべき。
- ・栗原地区で区画整理の準備会が検討を進めている中、産業的土地利用を誘導し、職住近接のまちづくりを考えているのは良いことだと思う。企業誘致を積極的に進めてほしい。

## &lt;都市機能に関して&gt;

- ・元狭山地区は他の地区に比べて商業などの都市機能が不足しているため、地区バランスの向上に向けた取り組みを進めてほしい。

## &lt;道路に関して&gt;

- ・主要幹線道路や幹線道路の整備が進められているが、ジョイフル本田周辺など渋滞が発生しており、地域住民は利便性向上を感じにくい。地域住民が便利と思えるまちづくりを進めてほしい。
- ・武蔵地区や殿ヶ谷地区周辺の道路体系を町が積極的に整備し、モノレール新駅のアクセス性向上を計画的に進めるべき。

## &lt;その他&gt;

- ・具体的なことが書かれておらず、「絵に描いた餅」になるのではないか。
- ・聞きなれない言葉や専門用語などは再検討すべき。
- ・人口や財政は横ばいの状況であり、（区域区分や都市施設整備について）東京都の考えを受けるだけで

はなく、瑞穂町独自の取り組みを積極的に推進し、産業拠点の形成等を進めていく必要がある。

- ・策定から 20 年経過した当初計画について、施策の進捗状況をしっかり把握した上で、今後の取り組みを見据えるべき。

#### ■マスタープラン改定に係るアンケート 現在の回収数

目的：町民の方々の地域へのイメージや希望等を把握し、地区別構想の「地区の将来像」の検討材料とする。

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| ・まちづくり懇談会 | 54 件（4 日間計）        |
| ・町ホームページ  | 13 件（9/10～9/25 実施） |
| ・小中学校     | 450 件              |
| ・役場職員     | 277 件              |